

なぜ西富小には校歌が2曲あるの!?

11月2日(月)、1975年制定の校歌・第2校歌を作った作曲家・伊東鎮哉先生が来校されました。40年ぶりに西富小の子どもとふれあった伊東先生は、「当時の子どもたちの方が、もっとわんぱくだったなあ」と笑いながら、2曲の校歌誕生までのお話をしてくださいました。



<伊東鎮哉・プロフィール>

広告代理店プロデューサーとして映画やTV番組、CMソングの作曲や編曲を担当。
一方で、ホリプロのタレント養成ボイストレーナーとして、山口百恵さん、和田アキ子さん、榊原郁恵さんらの指導にあたり、ヒットメーカー・トレーナーと称されてきました。現在は日本のこころ・童謡を伝え、長く継承される楽曲を生み出そうと活動。童謡コンサート『うたはともだち』も毎年開催している。葉山町在住。71歳。

*きっかけは、保護者の依頼

西富小の開校から1年後の1974年夏。東京のラジオ局『ニッポン放送』に勤めていた西富小PTAの1人が、同局で活躍していた伊東先生に「学校の校歌、作ってこないか」と頼みました。

*まっすぐな子どもの姿を見て、快諾

伊東先生はコンビを組んでいた作詞家の^{たしか}大家、

若山かほる先生を誘い西富小へ。その時はまだ迷っていたと言います。

しかし初代校長・石井和枝先生の笑顔と西富小の素直な子どもたちを見て「やろう!」と思ったそうです。

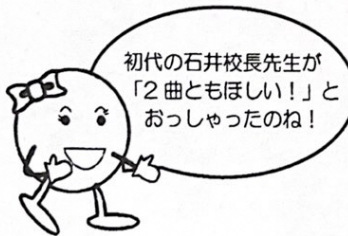


伊東先生の指揮で、校歌を歌いました(体育館にて)

*他校にはない2曲の校歌?

体育館のステージ脇、左右の壁に2つの『歌詞』が掲げられているのをご存じですか?ステージに向かって左側は校歌、右側のもう1曲はなんでしょう。これは1993年(平成5年)頃まで『校歌』と共に歌われていた『第2校歌』です。

小川校長先生によると小学校は、左右に『校歌』と『横浜市歌』が掲げられているのが一般的で、西富小はとても珍しいそうです。



初代の石井校長先生が「2曲ともほしい!」とおっしゃったのね!



*周囲の景色、子どもたちの様子をそのまま曲に!

伊東先生と若山先生はまず、2人が見た景色、感じた子どもたちの様子をそのまま表現し『おもしろくて、愉快的な曲』を作りました。これがのちの第2校歌です。

しかし「これでは校歌らしくないなあ」と困ってしまい、もう1曲作ることに。後からできた曲が現在の校歌『風は海から』です。

「どちらにしますか?」と2曲を披露すると、石井和枝校長先生は「両方下さい!」と即答。その迫力に負けて2曲ともプレゼントしたそうです。本来ならどちらか一方しか、日の目を見ることがなかったはず。

『風は海から』と『第2校歌』は、歌詞の一部がとてもよく似ています。